

(様式6-1)

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	このはな西都原古墳線の桜並木再生活動
助成事業者	全建緑陽会
代表者	全建緑陽会 会長 東憲之介
<p>(目的)</p> <p>桜を植栽することで美しい宮崎づくりを推進します。</p>	
<p>(概要)</p> <p>県道西都原古墳線の沿線の特別史跡公園西都原古墳群は、年間を通じて多数の観光客が訪れる、宮崎県を代表する観光地です。</p> <p>公園には、宮内庁により皇族の古墳とされた男狭穂塚と女狭穂塚の二墳を中心に300余基の古墳が点在しており各様式の古墳が眺められとともに、春の桜と菜の花、夏のひまわり、秋のコスモスと花が咲き誇り季節折々に古代ロマンと素晴らしい景観を沢山の方々が楽しんでます。</p> <p>一方、桜の名所である公園では、春になると「このはなマラソン」が開催されますが、コースである県道西都原古墳線の沿線は桜が枯死していました。</p> <p>宮崎県県土整備部OBが組織する全建緑陽会は、ボランティア活動としてこれまで西都IC付近の枝垂桜の剪定や施肥、支柱設置をしておりました。</p> <p>令和2年にこの整備が終了したために令和3年度は活動を実施する場所を公園内の同県道沿線に移し、宮崎「ひと・まち・みらい」づくり助成金を活用し桜の植栽を実施しました。令和3年度、令和4年度、令和5年度と活動を実施し、毎年、八重桜、陽光桜、河津桜各4本、合計12本の植栽を3年間実施し36本の桜の並木が出来上がりました。この活動で桜並木を形成することにより、美しい宮崎づくり推進に貢献したいと考えております。</p> <p>実施においては、公園で桜の剪定、施肥などを行っている西都地区の造園業の方々の集まりである美しい宮崎づくり活動団体「庭師二十日会」に指導を頂くとともに、一緒になって活動を行いました。また、令和5年に「庭師二十日会」はこのような活動が評価され「美しい宮崎づくり大賞」を受賞し知事表彰を受けました。</p> <p>令和4年度に植栽した桜からは翌年にはすでに花芽が付いて一部は開花していました。本年に植栽を行った桜が春先に花芽が付くか楽しみです。</p>	